

柚木永遠のいま

2025年2月14日(金)~3月23日(日)

沙弥郎

# サミロ・ユキ

Yunoki Samiro: The Eternal Now

開館時間：9:00-17:00 [2月14日(金)は10:00開館、  
2月22日(土)と3月22日(土)は19:00まで開館]  
入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日 [2月24日(月)は開館、2月25日(火)は休館]

会場：岡山県立美術館地下展示室

観覧料金：一般1,300円 / 65歳以上1,000円 ※ /  
大学生500円 ※ / 高校生以下無料 ※

※学生証や年齢を確認できる証明書をご提示ください

●キャンパスメンバーズ加盟校の学生は無料 ●障がい者手帳もしくはマイロIDを  
お持ちの方とその介護者1名は無料 ●3月18日(火)は開館記念日のため入場無料

主催：岡山県立美術館 共催：山陽新聞社、RSK山陽放送  
制作協力：NHKプロモーション 後援：岡山県教育委員会、岡山市、岡山市  
教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟、一般財団  
法人岡山県国際交流協会

 岡山県立美術館  
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

惜しまれつつも、2024年に101歳の生涯を閉じた、東京出身の染色家、<sup>ゆのき さみろう</sup> 柚木沙弥郎 (1922-2024)。型染の第一人者であり、自由でユーモラスな形態と、美しい色彩が心地よく調和したその作品は生命力にあふれ、見る人を惹きつけてやみません。実家は倉敷市玉島の旧家であり、戦後、職を得た大原美術館で、<sup>やなぎむねよし</sup> 柳宗悦らによる民藝運動に出会い、<sup>せりざわ けいすけ</sup> 芹沢銈介のもとで染色家としての道を歩みはじめた柚木は、1990年代以降は、染色作品を主軸にしながらも、版画やコラージュ、絵本、立体作品など、ジャンルの垣根を超え、その創作世界を大きくそしてより豊かに広げました。本展では、没後初の回顧展として作家の長年にわたる多彩な活動を概観するとともに、初公開となる柚木の最晩年の仕事もご紹介します。また、ゆかりの深い国内外の各都市をテーマにした特別展示によって、作家をめぐる旅へと誘います。

近年、私たちを取り巻く世界は劇的に変化しています。人生をしなやかに生き、身の回りのものに対する愛着や、日々の暮らしの中に見出した喜びから作品を紡ぎ出す柚木の仕事は、変化の時代にこそ、大切に慈しみたい「いま」を私たちに示してくれます。用の美を掲げる民藝を出発点に、100歳を超えてなお、人生を愛し、楽しんだ、柚木沙弥郎の75年にわたる創作活動の全貌をご堪能ください。



《型染むら雲  
三彩文着物》  
1967年 日本民藝館

# 柚木沙弥郎 永遠のいま

## 関連イベント

### 【記念講演会】

岡山から世界へ  
柚木沙弥郎の表現世界

講師：水沢勉氏  
(美術史家、本展監修者)

日時：2月22日(土) 14:00-15:30

場所：美術館ホール

定員：200名※先着順  
※要観覧券(半券可)

### 【美術館講座】

柚木沙弥郎の仕事

講師：鍵岡正護(当館顧問)

日時：3月1日(土)  
14:00-15:30

場所：講義室

定員：70名※先着順  
※要観覧券(半券可)

### 【美術館講座】

「柚木沙弥郎

永遠のいま」展を見る

講師：廣瀬就久(主任学芸員)

日時：3月22日(土)  
14:00-15:30

場所：講義室

定員：70名※先着順  
※要観覧券(半券可)



《このぼり》2016年 公益財団法人 泉美術館



《紅型風型染布》部分 1948年 日本民藝館

《ならぶならぶ鳥》1983年 世田谷美術館

交通案内 ※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から

徒歩・約15分/路面電車・岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車  
徒歩約3分/岡電バス・1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ/宇野  
バス・11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩3分



《『つきよのおんがくかい』絵本原画》1999年 木城えほんの郷



岡山県立美術館  
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48 TEL|086-225-4800  
FAX|086-224-0648 Email|kenbi@pref.okayama.lg.jp



https://okayama-kenbi.info